

ハイパフォーマンスの実現へ

Environment Responsibility Policy (環境責任に関するポリシー)

アクセンチュアは、環境活動をビジネス戦略と事業運営の中に積極的に取り入れ、社員、クライアント、サプライヤーなど、すべてのステークホルダーが環境を意識し、責任を持って行動していくことを約束しています。事業環境の中で、アクセンチュアが優先していることは以下のとおりです。

社員

- 社員の環境意識を高め、適切なトレーニングを行い、アクセンチュアの取組みプログラムに関する情報を提供する。
- 社員の熱い思いに応えるプログラムを策定し、社員が会社の環境パフォーマンス改善に向けた活動に参加できる機会を与える。

クライアントとサプライヤー

- 私たちの仕事の進め方が環境に与える影響についてクライアントとともに考え、クライアント自身が環境に与える影響に対応できるよう支援する。
- 商品やサービスを調達する場合は、環境因子を考慮する。
- 主要サプライヤーの環境パフォーマンスを評価し、私たち同様、サプライヤーに環境パフォーマンスの改善を促す。

エネルギーと排出量

- アクセンチュアのエネルギー使用や出張で生じる二酸化炭素の排出量をモニターし、排出量削減に向けて継続的改善プログラムを実施する。
- 効率的な不動産運用を含め、オフィスビルやデータセンターのエネルギー使用を最適化し、再生可能エネルギー源の利用可能性を探る。

- コラボレーション技術を活用し、必要な出張回数を減らす。

廃棄物と水

- 業務活動の中でできる限り廃棄物や水の使用量を測定するとともに、汚染や天然資源の消費を最小限に抑えるような方法で業務を行う。
- PCやモバイル機器を再利用、または修繕して利用するなど、再利用とリサイクルを促進する。
- ビジネスの現場からごみ処理場に直接運び込まれるような廃棄物を最小限に減らす。

環境管理システム

- 環境管理システム(EMS)の国際基準であるISO14001のグローバル認証を取得し、これを維持する。

法規制

- 事業の運営に関わるすべての法令、その他規定を遵守する。

本ポリシーの規定に従うために、アクセンチュアは継続的改善プログラムを実行することを約束し、目標を設定、目標への進捗を測りつつ、必要に応じて、重要な評価基準をステークホルダーと共有していきます。この目標は毎年見直され、適切かつ達成可能な目標であることが確認されます。社員は、このような環境への取組みを理解し、関連するトレーニングや啓蒙活動参加など、アクセンチュアの取組みを支えていくことが求められています。

© 2010 Accenture All rights reserved..